2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月2日

上場会社名　太陽化学株式会社　　上場取引所　名
コード番号　2902　URL https://www.taiyokagaku.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山崎　長宣
問合せ先責任者　(役職名) 取締役副社長コーポレート本部長兼ウェルネス推進本部長　(氏名) 山崎　長俊　TEL 059-340-0802

半期報告書提出予定日　2026年11月4日　配当支払開始予定日　2026年12月1日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	27,742	6.6	3,959	9.7	4,131	6.6	2,881	20.5
2026年3月期中間期	26,023	4.2	3,608	21.7	3,876	27.5	2,391	6.2

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　3,308百万円　(19.3%)　2026年3月期中間期　2,773百万円　(43.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	172.09	―
2026年3月期中間期	141.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	71,526	58,710	79.6
2026年3月期	69,599	56,851	79.4

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　56,969百万円　2026年3月期　55,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	20.00	―	89.00	109.00
2027年3月期	―	20.00			
2027年3月期(予想)			―	81.00	101.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	4.8	7,000	△1.1	7,200	△8.0	4,800	△8.0	286.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2．中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	23,513,701 株	2026年3月期	23,513,701 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	6,762,860 株	2026年3月期	6,778,511 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	16,743,058 株	2026年3月期中間期	16,876,539 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、高い賃上げ率による雇用・所得環境の改善を背景に、景気は穏やかな回復基調で推移いたしましたが、東欧・中東地域における紛争の長期化等による地政学リスクの高まり、不安定な為替動向や物価高、さらには相次ぐ自然災害の発生の影響により、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当社事業の主要分野であります食品業界におきましては、付加価値商品への需要により底堅く推移しましたが、原材料価格やエネルギーコストに加え、物流費及び人件費の高止まりが継続しているほか、継続的な物価上昇に伴う個人消費の伸び悩みなど、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

①市場変化への対応
②販売の強化（グローバル化）
③品質管理体制の維持・強化
④環境への取り組み
⑤人材育成
⑥ガバナンスの強化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、277億42百万円（前年同期比6.6%増）となりました。営業利益は、39億59百万円（前年同期比9.7%増）となりました。経常利益は、41億31百万円（前年同期比6.6%増）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、28億81百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■　ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内、アジア及び欧米市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、米国市場は減少しましたが、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

ミネラル製剤は、アジア及び欧米市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、米国市場は増加しましたが、国内市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、92億63百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は、21億56百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

■　インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

一般食品用途は、国内市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

化粧品、トイレタリー用途は、国内、アジア及び欧州市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

飲料用途は、国内及びアジア市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、77億94百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は、11億円（前年同期比0.3%増）となりました。

■　ナチュラルイングリディエント事業

乳製品、飲料、菓子、パン、総菜、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、乳製品・加工食品用途の液卵加工品・粉末卵が増加しましたが、めん用途等の粉末卵が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

安定剤は、惣菜用途、冷菓用途及び飲料用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、105億94百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は、６億76百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

■　その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、90百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は、25百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して19億27百万円増加して715億26百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加９億９百万円、商品及び製品の増加７億54百万円、建物及び構築物（純額）の増加４億97百万円、投資有価証券の増加７億23百万円、現金及び預金の減少２億24百万円、原材料及び貯蔵品の減少１億77百万円、流動資産その他の減少１億17百万円、機械装置及び運搬具（純額）の減少３億２百万円、有形固定資産その他（純額）の減少１億87百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して67百万円増加して128億15百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加５億58百万円、賞与引当金の増加５億60百万円、固定負債その他の増加１億71百万円、未払法人税等の減少５億53百万円、流動負債その他の減少６億90百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して18億59百万円増加して587億10百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益28億81百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加３億62百万円、非支配株主持分の増加１億28百万円、配当金の支払による減少14億90百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.4%から79.6%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月11日の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,879,583	13,655,227
受取手形及び売掛金	11,133,452	12,043,396
電子記録債権	679,426	721,234
商品及び製品	6,793,029	7,548,017
仕掛品	812,479	828,610
原材料及び貯蔵品	4,128,910	3,951,617
その他	1,152,122	1,034,338
貸倒引当金	△38,959	△45,013
流動資産合計	38,540,045	39,737,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,892,897	9,390,154
機械装置及び運搬具（純額）	5,074,403	4,771,799
土地	8,166,432	8,165,667
その他（純額）	1,725,678	1,538,404
有形固定資産合計	23,859,412	23,866,026
無形固定資産	141,350	148,971
投資その他の資産		
投資有価証券	6,754,023	7,477,304
その他	317,784	309,888
貸倒引当金	△12,950	△12,950
投資その他の資産合計	7,058,857	7,774,242
固定資産合計	31,059,619	31,789,240
資産合計	69,599,665	71,526,669

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,112,633	6,671,359
未払法人税等	1,605,528	1,052,107
賞与引当金	368,526	928,554
その他	2,672,837	1,982,062
流動負債合計	10,759,525	10,634,083
固定負債		
長期借入金	383,371	376,859
退職給付に係る負債	25,574	30,219
役員退職慰労引当金	303,665	326,996
その他	1,276,070	1,447,835
固定負債合計	1,988,680	2,181,910
負債合計	12,748,205	12,815,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,380,760	7,403,900
利益剰余金	43,366,688	44,757,749
自己株式	△7,565,534	△7,548,059
株主資本合計	50,912,535	52,344,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,625,295	2,987,617
繰延ヘッジ損益	7,738	21,013
為替換算調整勘定	1,682,146	1,606,350
退職給付に係る調整累計額	11,456	10,691
その他の包括利益累計額合計	4,326,637	4,625,672
非支配株主持分	1,612,286	1,740,791
純資産合計	56,851,459	58,710,675
負債純資産合計	69,599,665	71,526,669

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	26,023,938	27,742,972
売上原価	18,113,232	18,726,102
売上総利益	7,910,705	9,016,869
販売費及び一般管理費	4,302,501	5,057,577
営業利益	3,608,204	3,959,292
営業外収益		
受取利息	26,385	79,247
受取配当金	61,796	67,165
持分法による投資利益	60,000	67,414
為替差益	69,700	－
受取賃貸料	33,485	61,449
その他	71,075	25,897
営業外収益合計	322,443	301,174
営業外費用		
支払利息	11,418	11,315
貸与資産減価償却費	23,935	32,258
為替差損	－	58,628
その他	19,007	26,822
営業外費用合計	54,361	129,024
経常利益	3,876,286	4,131,442
特別利益		
固定資産売却益	－	50,548
特別利益合計	－	50,548
特別損失		
固定資産除売却損	4,221	54,691
役員退職慰労金	240,519	－
特別損失合計	244,741	54,691
税金等調整前中間純利益	3,631,545	4,127,299
法人税等	1,100,541	1,108,283
中間純利益	2,531,004	3,019,015
非支配株主に帰属する中間純利益	139,192	137,691
親会社株主に帰属する中間純利益	2,391,811	2,881,323

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,531,004	3,019,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192,640	372,129
為替換算調整勘定	△12,050	△84,983
退職給付に係る調整額	21,773	△764
持分法適用会社に対する持分相当額	40,187	3,467
その他の包括利益合計	242,549	289,849
中間包括利益	2,773,553	3,308,864
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,816,767	3,180,359
非支配株主に係る中間包括利益	△43,213	128,505

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ニュートリション事業	インターフェイスソリューション事業	ナチュラルイングリディエント事業	計		
売上高						
日本	3,115,045	6,073,414	8,942,991	18,131,450	77,581	18,209,032
アジア	654,061	867,263	1,613,538	3,134,863	8,756	3,143,619
アメリカ	3,528,816	58,955	－	3,587,772	－	3,587,772
欧州	959,178	124,334	－	1,083,513	－	1,083,513
顧客との契約から生じる収益	8,257,102	7,123,967	10,556,529	25,937,599	86,338	26,023,938
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	8,257,102	7,123,967	10,556,529	25,937,599	86,338	26,023,938
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	8,257,102	7,123,967	10,556,529	25,937,599	86,338	26,023,938
セグメント利益	1,870,694	1,096,950	614,808	3,582,453	25,751	3,608,204

（注）１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
２.セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ニュートリション事業	インターフェイスソリューション事業	ナチュラルイングリディエント事業	計		
売上高						
日本	3,287,391	6,370,113	8,927,953	18,585,458	79,992	18,665,451
アジア	855,938	1,194,148	1,666,798	3,716,885	10,150	3,727,036
アメリカ	3,873,248	13,971	－	3,887,220	－	3,887,220
欧州	1,247,270	215,994	－	1,463,264	－	1,463,264
顧客との契約から生じる収益	9,263,849	7,794,227	10,594,752	27,652,829	90,142	27,742,972
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	9,263,849	7,794,227	10,594,752	27,652,829	90,142	27,742,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	9,263,849	7,794,227	10,594,752	27,652,829	90,142	27,742,972
セグメント利益	2,156,868	1,100,069	676,933	3,933,871	25,421	3,959,292

（注）１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
２.セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。